



# 3年生～今のぼく・わたし

## 指導者用



名まえ

・このワークシートは、中学年の児童用です。数字をその子の学年に合わせてください。

### 好きなことをしている じぶん

・好きなことをしている自分を、絵でかきます。言葉で表現することが苦手な児童についても、絵を通して、自分の考えや気持ちを表現できる場とします。

### じぶんのよいところ・すてきなところ

- ・自分のよいところや素敵なおところ、好きなことや得意なこと、将来の夢などについて考えることは、本人にとって自分を知るきっかけになります。また、何年後かに読み返したときに、自分の適性などを見つめる際にも役立ちます。
- ・支援の必要な子に対しては、やり取りしたり、視覚化や動作化をしたりして進めるとよいです。また、ポケットクや音声変換アプリ等を使用することで、子どもが母語を使用できる安心感をもつことにつながり、考えや思いを引き出しやすくなります。
- ・学級の仲間が「じぶんの好きなもの」を知ることで、よりよい仲間関係をつくるのが期待できますので、掲示したり学級の子と交流したりするとよいです。

## がんばっていること

## ともだちからみた ぼく・わたし

学しゅう(いっしょ)

・3、4年生の時期は、発達の段階として、係活動に一生懸命取り組んだり、よりよい仲間関係をつくろうとしたりする活動を充実させることが大切です。その際、仲間や学級の中の自分を意識させ、集団のために自分ができることや、集団の中で自分がすべきことを考えるよう促したり、児童の考えや思いを価値付けたりするとよいです。

・事前や事後に、学級や班の子と、互いのよさについて伝え合う活動を行うと、自己理解が一層深まります。

生活(あそび)

・児童のよさや持ち味を十分に受け止め、自己肯定感が高まる声かけを心掛けましょう。

・先生は、児童の思いを十分に受け止め、「やさしい日本語」で認め励ましの言葉を書きます。  
・保護者にも、この用紙の趣旨を理解していただき、認め励ましの言葉を書いていただくようお願いいたします。その際、日本語ではなく、母語でもよいです。

先生から

おう